



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月29日

上場会社名 株式会社ミスミグループ本社
 コード番号 9962 URL <https://www.misumi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大野 龍隆
 問合せ先責任者 (役職名) ファイナンスプラットフォーム (氏名) 高波 徹
 代表執行役員 CFO

上場取引所 東

TEL 03-5805-7401

四半期報告書提出予定日 2020年11月5日 配当支払開始予定日 2020年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 (機関投資家向け資料)
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け説明会)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	143,302	8.8	9,126	22.2	9,108	21.3	6,708	21.2
2020年3月期第2四半期	157,133	5.7	11,737	26.2	11,566	27.6	8,510	26.5

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 6,701百万円 (130.2%) 2020年3月期第2四半期 2,910百万円 (78.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	23.63	23.55
2020年3月期第2四半期	30.00	29.91

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	264,099	216,682	81.1
2020年3月期	264,684	211,630	79.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 214,210百万円 2020年3月期 209,514百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		7.51		7.04	14.55
2021年3月期		5.91			
2021年3月期(予想)				7.22	13.13

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	4.3	20,900	11.6	20,500	11.8	14,900	9.7	52.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	284,046,197 株	2020年3月期	284,028,197 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	129,618 株	2020年3月期	129,616 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	283,904,005 株	2020年3月期2Q	283,648,617 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大や米中貿易摩擦の影響を受け、製造業の設備投資低迷が続き、グローバルで大変厳しい状況にありました。中国では回復傾向が見られましたが、その他地域は緩やかな回復基調も先行きがまだ不透明で、また、主要国における自動車関連は一部地域で生産が戻りつつも本格的な需要回復に至りませんでした。日本においては設備投資需要の低迷、生産用機器の輸出減などの影響が続きました。

こうした環境の中においても、当社はメーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしながら、これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の確実短納期ニーズに応えることで世界の製造業に貢献しています。当第2四半期においては、これまで当社が築いてきたIT、物流、製造の強固な事業基盤やグローバル拠点網を活用し、新型コロナウイルスの影響が続いている中でも、世界の顧客に対して安定供給を継続し短納期ニーズに対応しました。しかしながら、製造業の設備投資低迷が継続した影響により、売上高、利益ともに前年比減少となりました。

この結果、連結売上高は1,433億2百万円（前年同期比8.8%減）となりました。利益面につきましては、コスト削減に尽力しましたが、売上減少の影響により、営業利益は91億2千6百万円（前年同期比22.2%減）、経常利益は91億8百万円（前年同期比21.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は67億8百万円（前年同期比21.2%減）となりました。

・報告セグメントの業績

①FA事業

FA事業は、中国が好調も、その他地域とりわけ日本の低迷が影響し、売上高は478億1千万円（前年同期比4.1%減）、営業利益については、商品ミックスの良化により販売減少の影響を一部吸収し、61億2千8百万円（前年同期比1.8%減）となりました。

②金型部品事業

金型部品事業は、グローバルで自動車関連業界の不振により各地域でマイナス成長となり、売上高は310億2千8百万円（前年同期比16.7%減）、営業利益については、販売減少の影響が大きく、12億7千3百万円（前年同期比49.1%減）となりました。

③VONA事業

VONA事業は、ミスミブランド以外の他社製品も含めた生産設備関連部品、製造副資材、MRO（消耗品）等を販売するミスミグループの流通事業です。当第2四半期は、中国が堅調だったものの、日本のマイナス成長による影響が大きく、売上高は644億6千4百万円（前年同期比8.0%減）、営業利益については、販売減少の影響により、17億2千5百万円（前年同期比42.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況に関する分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ5億8千5百万円(△0.2%)減少し、2,640億9千9百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金、商品及び製品の増加などにより流動資産が2億2千4百万円(+0.1%)増加した一方で、有形固定資産が4億3千7百万円(△1.0%)減少し、無形固定資産が3億8千1百万円(△1.2%)減少したことによるものです。

総負債は、前連結会計年度末と比べ56億3千7百万円(△10.6%)減少し、474億1千7百万円となりました。この主な要因は、未払金が35億5千7百万円(△35.7%)減少したこと、支払手形及び買掛金が14億3千9百万円(△8.2%)減少したことなどにより、流動負債が55億3千万円(△13.6%)減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比べ50億5千2百万円(+2.4%)増加し、2,166億8千2百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金の増加などにより株主資本が47億3千4百万円(+2.2%)増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度の79.2%から81.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末と比べ94億3千2百万円増加し、538億7千2百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、136億1千1百万円の純収入となりました(前年同期は133億6千6百万円の純収入)。この主な内訳は、税金等調整前四半期純利益が91億8百万円、減価償却費が73億7千万円、売上債権の減少額が60億7千3百万円、たな卸資産の増加額が23億1千4百万円、仕入債務の減少額が17億4千3百万円、法人税等の支払額が36億4千3百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、15億2千5百万円の純支出となりました(前年同期は2億8千7百万円の純支出)。この主な内訳は、固定資産の取得による支出が79億4千4百万円、定期預金の預入による支出が11億7千7百万円、定期預金の払戻しによる収入が76億8千3百万円、敷金及び保証金の差入による支出が2億3千2百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、29億4千8百万円の純支出となりました(前年同期は38億1千8百万円の純支出)。この主な内訳は、配当金の支払額が19億9千8百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、2020年7月30日に公表いたしました連結業績予想から修正はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	51,646	54,429
受取手形及び売掛金	63,178	58,522
商品及び製品	46,506	49,004
仕掛品	2,391	2,373
原材料及び貯蔵品	6,280	6,161
その他	6,633	6,434
貸倒引当金	△242	△307
流動資産合計	176,395	176,619
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,469	13,969
機械装置及び運搬具(純額)	15,344	14,720
土地	4,249	4,247
その他(純額)	13,440	12,128
有形固定資産合計	45,503	45,066
無形固定資産		
ソフトウェア	25,734	25,871
その他	6,600	6,081
無形固定資産合計	32,334	31,952
投資その他の資産		
投資有価証券	6	6
その他	10,651	10,665
貸倒引当金	△206	△211
投資その他の資産合計	10,451	10,460
固定資産合計	88,289	87,480
資産合計	264,684	264,099

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,448	16,009
未払金	9,961	6,404
未払法人税等	2,658	1,524
賞与引当金	2,463	2,021
役員賞与引当金	30	13
その他	8,029	9,089
流動負債合計	40,592	35,061
固定負債		
退職給付に係る負債	6,008	6,359
その他	6,454	5,996
固定負債合計	12,462	12,355
負債合計	53,054	47,417
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,231	13,244
資本剰余金	23,586	23,599
利益剰余金	177,317	182,027
自己株式	△78	△78
株主資本合計	214,057	218,792
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△4,455	△4,502
退職給付に係る調整累計額	△88	△79
その他の包括利益累計額合計	△4,543	△4,581
新株予約権	1,560	1,901
非支配株主持分	555	569
純資産合計	211,630	216,682
負債純資産合計	264,684	264,099

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	157,133	143,302
売上原価	90,513	82,573
売上総利益	66,619	60,729
販売費及び一般管理費	54,882	51,602
営業利益	11,737	9,126
営業外収益		
受取利息	135	144
雑収入	184	170
営業外収益合計	320	314
営業外費用		
売上割引	37	35
為替差損	328	198
雑損失	124	98
営業外費用合計	490	332
経常利益	11,566	9,108
税金等調整前四半期純利益	11,566	9,108
法人税等	3,027	2,381
四半期純利益	8,538	6,727
非支配株主に帰属する四半期純利益	28	19
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,510	6,708

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	8,538	6,727
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△5,625	△32
退職給付に係る調整額	4	8
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	△2
その他の包括利益合計	△5,627	△25
四半期包括利益	2,910	6,701
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,919	6,670
非支配株主に係る四半期包括利益	△8	31

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,566	9,108
減価償却費	6,107	7,370
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	387	361
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△442	△445
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△17	△17
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	20	68
受取利息及び受取配当金	△141	△150
支払利息	50	28
株式報酬費用	361	364
為替差損益 (△は益)	△58	24
持分法による投資損益 (△は益)	△31	△16
売上債権の増減額 (△は増加)	5,118	6,073
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,644	△2,314
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△374	△184
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,324	△1,743
未払金の増減額 (△は減少)	△1,144	△1,210
その他の資産の増減額 (△は増加)	143	△568
その他の負債の増減額 (△は減少)	△113	195
小計	16,464	16,943
利息及び配当金の受取額	149	150
利息の支払額	△50	△28
法人税等の還付額	4	188
法人税等の支払額	△3,201	△3,643
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,366	13,611
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△8,976	△7,944
固定資産の売却による収入	6	0
定期預金の預入による支出	△1,163	△1,177
定期預金の払戻による収入	9,918	7,683
敷金及び保証金の差入による支出	△246	△232
敷金及び保証金の回収による収入	106	118
その他	67	26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△287	△1,525
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	45	0
配当金の支払額	△3,117	△1,998
リース債務の返済による支出	△746	△942
その他	0	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,818	△2,948
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,936	296
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,323	9,432
現金及び現金同等物の期首残高	41,753	44,439
現金及び現金同等物の四半期末残高	49,076	53,872

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(2020年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルスの感染拡大は、製造業の設備投資需要や顧客の稼働に影響を与えておりますが、グローバル製造業の景況は2021年3月期の第1四半期を底に、下期に向けて緩やかに回復するものと仮定し、たな卸資産の評価、固定資産の減損会計、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。また、当該会計上の見積りの仮定について、前連結会計年度末から重要な変更はありません。

なお、この仮定は新型コロナウイルス感染拡大など、さらなる事業環境の悪化を想定していないことに加え、感染拡大の収束時期等、様々な要因に大きく影響を受けるため、将来における実績値に基づく結果がこれらの見積り及び仮定と異なる可能性があります。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA事業	金型部品事業	VONA事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	49,836	37,257	70,038	157,133	—	157,133
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—
計	49,836	37,257	70,038	157,133	—	157,133
セグメント利益	6,242	2,498	2,995	11,737	—	11,737
のれん等償却前セグメント利益※	6,242	2,801	2,995	12,040	—	12,040

※(参考情報)

Dayton Lamina Corporation買収にかかるその他無形固定資産の償却前営業利益

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA事業	金型部品事業	VONA事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	47,810	31,028	64,464	143,302	—	143,302
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—
計	47,810	31,028	64,464	143,302	—	143,302
セグメント利益	6,128	1,273	1,725	9,126	—	9,126
のれん等償却前セグメント利益※	6,128	1,569	1,725	9,422	—	9,422

※(参考情報)

Dayton Lamina Corporation買収にかかるその他無形固定資産の償却前営業利益

(補足情報)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

地域に関する情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

日本	中国	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	その他	計
83,088	26,840	22,274	13,946	8,143	2,840	157,133

(注) 売上高は当社グループの本邦と本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	中国	ベトナム	アメリカ	その他	計
16,669	8,088	8,059	4,024	8,179	45,021

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

地域に関する情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

日本	中国	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	その他	計
71,222	30,375	19,501	12,594	7,232	2,376	143,302

(注) 売上高は当社グループの本邦と本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	中国	ベトナム	アメリカ	その他	計
17,399	7,556	7,011	4,855	8,242	45,066